



市報

よて

2010(平成22)年
8.1

No.116

特集 地域で育む、子育て、親育て

主な内容

●横手わか杉カップ…8～9 ●横手市戦没者追悼式、栄光、参議院議員通常選挙ほか…10～11 ●行政情報便（市からのお知らせ）…12～16 ●地域の話・ニュース東西南北…17～19 ●えがいの交差点…20～21 ●情報・いどばたプラザ…22～24 ●読者の声…26 ●巧（菓子職人）…27

アジサイが醸す横手の「涼」

7月11日、観音寺鐘つき堂下で開かれた『横手川と紫陽花に親しむ茶会』。横手川のせせらぎに包まれながら、梅雨の合間に訪れた優雅な一時を楽しみました。（関連記事18ページ）

あじさい

子どもと親が地域で育つ まちづくりが基本理念

次世代育成支援地域行動計画は、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整備するための行動計画を、法律（※）にしたがい各自治体が定めたものです。横手市では、市町村の合併協議と並行して平成17年3月に『夢はぐくむ ゆきんこプラン』の前期5年間の計画を策定しました。前期計画は、平成17年度から21年度までを実施期間として『子どもが親が地域で育つ笑顔あふれるまち』を基本理念に掲げ、子どもや子育て家庭のための取り組みを推進する内容で作られました。

※平成15年7月に制定された『次世代育成支援対策推進法』および『児童福祉法の一部を改正する法律』

幅広い分野の市民・職員が策定と進捗管理に参画

この行動計画は、次世代育成支援地域協議会と市の関係する各部署の職員との話し合いで作られたものです。その話し合いには、子どもの成長と子育てに関わりのある、医療や保健、福祉、教育は

次世代育成支援地域行動計画とは

もちろん、雇用や労働、警察など幅広い分野の機関や団体と高校生を含む一般公募の市民も参加しています。

この協議会は今後も定期的に開かれ、各種支援策の成果や進捗状況などを確かめ、その都度、取り組みを見直し、次の行動に反映させる仕組みとなっています。

子どもと親がともに育つための5つの基本目標

前期計画は、次代を担う子どもたちの健やかな成長のため、子ども自身や子育てをしている保護者などがどのような支援を求めているか考え、話し合いの中で定められました。平成22年度から取り組む後期計画は、基本的な考え方は継承しながらも、その後の社会状況の変化を考慮。子どもたちもその親も地域で育てられ、地域で育つまちづくりを目指して、次の5つの取り組みを柱に据えています。

◎ 保育サービスや経済的支援の提供といった子育てを支

援する仕組みづくり

◎ 母子の健康を守り子どもたちが心身ともに健やかに育つ元氣・健康づくり

◎ 次代を担う子どもたちを育むひとづくり

◎ 安心して子育てできる環境づくり

◎ 仕事と家庭生活が両立できる社会づくり

また、平成20年度には、子ども一人ひとりが尊重され、健やかに成長できるよう『子どもの権利宣言』を制定しました。この宣言は『大人の宣言』と『子どもの宣言』からなり、大人は子どもの権利を尊重し見守り育てることを、子どもはのびのび元氣な横手っ子を目指すことを宣言しています。



今年度は新たな顔ぶれで話し合いが行われている次世代育成支援地域協議会（6月28日の第1回協議会）



地域で育む、子育て、親育て

市では、今年3月に次世代育成支援地域後期行動計画『夢はぐくむ ゆきんこプラン』を策定しました。

その基本理念は「子どもが 親が 地域で育つ笑顔あふれるまち」。子どもの権利が尊重され、未来に夢を描ける社会の実現をめざし、子どもや親、地域社会など前期行動計画で重視した8つの項目を踏まえつつ、新たに『仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）』を加えた9つの視点から「次世代の育成、を見つめ、さまざまな分野で取り組みの目標を定めました。

少子化が叫ばれて久しい中で、次代を担う人材を育成するために、私たち市民や地域社会がどう関わったらいいのかを考えてみます。

特集 横手市の次世代育成支援



現状と見通し 進む少子化と経済不安

～次世代育成支援地域後期行動計画書から抜粋～

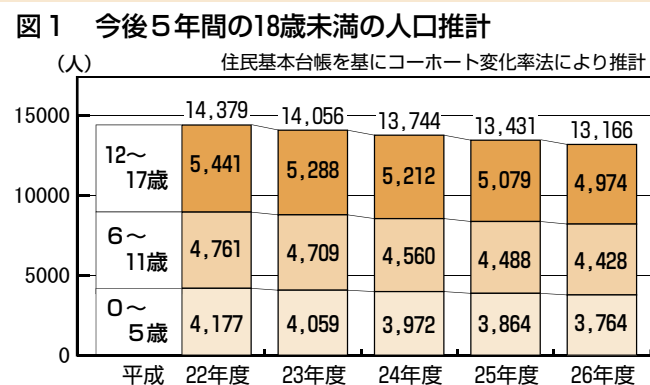
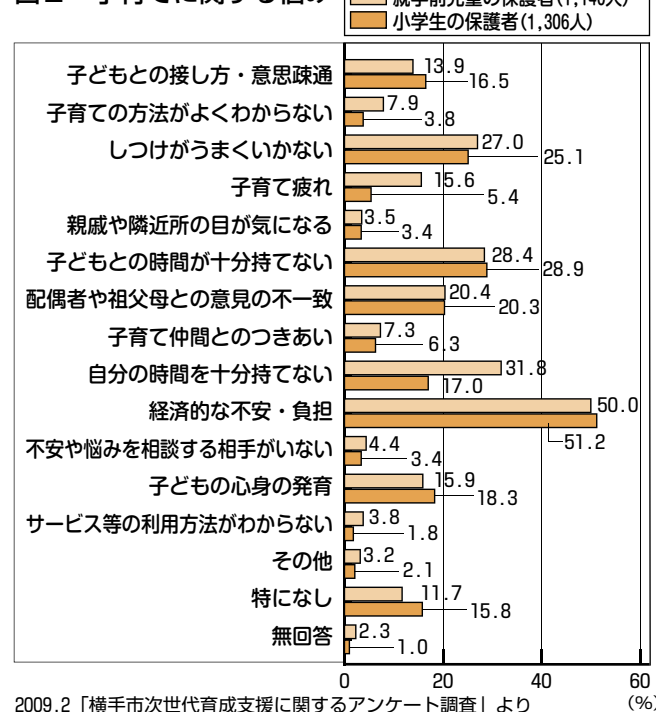


図1は市内の児童数の推移です。今後5年間で1,200人以上の児童が減少する見込みで、これは市内で一番児童数の多い横手南小学校の2倍にあたる人数です。

図2は子育ての悩みを聞いたものです。就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「経済的な不安・負担」が過半数を占めています。「子どもとの時間がとれない」「しつけがうまくいかない」「家族との意見の不一致」などの割合が高いことがわかります。

図2 子育てに関する悩み



次代を担う人づくり



健やかな体と豊かな心を養うことが将来の担い手を育てる

親と子の心身の健康は次世代を育む基礎づくり

子どもたちが未来に夢を描くためには、何よりも心身の健康が基本になります。そのためには、親——とりわけ母親の健康が大切です。

妊産婦や乳幼児期の健診、予防接種は、非常に充実している利用率の高いサービスです。一方、育児の環境や課題は家庭ごとに違いますので、普段の生活の様子を把握したり、その家庭に合った情報を提供したりするためには、保健師などによる家庭訪問なども大事になります。

医療の分野では、休日夜間の小児救急の受付体制整備や不妊治療への情報提供や支援など、官民が一体となって協力する体制づくりが進められています。

また、『食育』の推進も地域との関わりが深い健康増進の取り組みです。食と農の資源が豊かな横手市では、今後ますますその重要度が増してくるでしょう。

親となる人材育成こそ地域社会の重要課題

子どもたちの健全育成とともに、次代を担う親の育成も地域にとって欠かせない課題です。社会情勢の変化にともない、男女共同参画の推進や中学・高校生が乳幼児とふれあう機会の拡充、若者の就業支援などを通じて、親となる人材を多面的に育てる必要があります。

学校教育の現場では、子どもの生きる力を育てる授業や指導が取り入れられ、確かな学力の向上とともに豊かな心と健やかな体を育てる取り組みが進められています。しかし、子どもたちの心身は学校の中だけで形成されるものではありません。子どもたちが自身が地域や社会とのつながりを実感し、生きる力が育つためには、地域がさまざまな形で関わりを持つことが大事になります。

また、次世代育成の取り組みの中で市が重要視しているのが『子どもの権利』です。

『子どもの権利宣言』には、児童虐待やいじめなどの社会問題への対処としてだけでなく、人としての尊厳や地域社

会との関わりなど、人として忘れてはならない最も基本となる考えが、わかりやすく盛り込まれています。



高橋 沙織 さん
横手清陵学院高校3年

次代を担う者の責任を持ちたい

初めは会議の内容が難しく不安でしたが、1年ほどたつと「次代を担う者の責任として、高校生でも横手の現状を知っておかないといけない」と思うようになりました。若者の県外流出は私の想像以上で、働く場が少ないことは、深刻な問題だと感じました。横手駅前にできる児童センターは、安全で広々とした施設で子どもたちの輪が広がり、親子の絆も深められる場所になることを願っています。



和田 祐依 さん
横手城南高校3年

大切にしたい地域とのつながり

中学生の提案が基になった『子どもの権利宣言』は、とてもわかりやすく親しみやすく、子どもも大人も共有できる良い目標ができたと思います。この会議に参加して、次世代の育成には地域の関わり、特に子どもの見守り活動やあいさつの大切さを強く感じることができ、今は生徒会活動でそれを実践しています。将来は地元で働きたいと思っているので、地域とのつながりは大切にしていきたいです。

次世代を支える環境づくり

地域ぐるみの見守り活動で安全安心の基礎固め

地域の環境整備では、何よりも子どもたちが安心して生活できる安全なまちづくりが優先されます。例えば、公共施設のバリアフリー化や街灯整備、交通安全教育や防犯パトロールなどは、そのまますべての人が暮らしやすい地域づくりに結びつきます。

子どもたちの安全確保には、さまざまな「見守り」の組織が活動を実践しています。パトロールや意識啓発だけでなく、犯罪や危険箇所などに関する情報共有やネットワーク化を図り、地域全体での持続的な活動に進化させていくことも必要です。その手立てとして、迅速に情報が伝達できる市の『安全・安心メール』の普及拡大は、有効な方法のひとつと言えます。

安全安心で働きやすい地域社会の実現が力をにぎる

仕事と家庭生活の調和が今後の地域社会の力

安心して子どもを産み育てられる地域社会——口で言うのは易しいですが、そのためには最も大事なことは、仕事と家庭を両立できる環境づくりです。しかし、経済情勢が厳しい中で、その実現は容易ではありません。

子育て世代に対応した多様な働き方の実現や、男性を含

めた「働き方」の見直しを図るため、企業や就業者自身に対する意識啓発の取り組みが急務です。特に「次代の親」となる若者の雇用を確保するため、市でも関係機関と連携し、高校新卒者の地元就職への協力要請や企業等への支援策の検討を始めています。

また、職業生活と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた環境づくりを進めるため、子育て支援サ

ビスの充実や男女共同参画推進、家庭教育の強化への取り組みが求められています。

多様なニーズに応えられる保育環境の整備を促進

少子化で保育所の入所児童数はゆるやかな減少が見込まれますが、家庭環境や就労形態の変化により保育ニーズは多様化しています。市の保育所整備計画では、地域の保育ニーズを的確に把握し、将来を見据えた施設整備や保育体制の整備を目指しています。

具体的には、全市的に需要の多い乳児・延長保育の体制を全施設で整えるほか、障が



■保育所整備年次計画

予定年度	保育所名	地域	整備内容
22年度	醍醐保育園	平鹿	増築(定員増)
23年度	明照保育園	横手	増築・修繕
25年度	横手幼児園	横手	改築
	里見保育所 館合保育所	雄物川	改築(統合)
	福地保育所 大沢保育所		認定こども園検討
26年度	みいり保育園	横手	改築
27年度	白山保育所 大森保育園	大森	改築(統合)
29年度	和光保育園	横手	改築
30年度	浅舞感恩講保育園	平鹿	大規模修繕

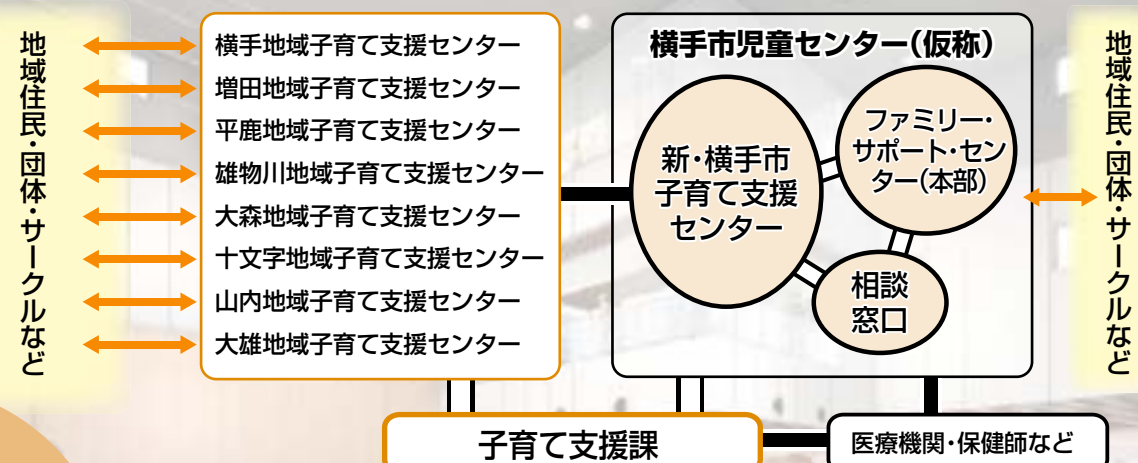
園私立 園公立 園へき地保育所 ※整備年度は変更の可能性があります。

人と情報が集まる子育て支援の拠点に

平成23年春、横手駅東口に横手市児童センター(仮称)が開所予定

横手駅前に建設が進められている市の公共公益施設棟の2階には、児童センターの設置が計画されています。この2階フロアのコネクトは『広げよう！笑顔あふれる子育ての輪』。子育てに関わるすべての人が気軽に利用でき、人と情報が集まる横手市全域の「子育て支援の拠点施設」を目指しています。児童センター開所後の市の子育て支援体制をイメージすると、下の図のようになります。

横手市の子育て支援体制のイメージ



児童センター内の遊戯スペースは約400㎡あり、大型遊具などで子どもたちが季節に関係なく存分に体を動かします。この広さを生かし、定期的に親子の交流イベントや育児サークルなどの活動も行う予定です。子どもと一緒に訪れた保護者が、気軽に子育ての相談ができるように、子育て支援センターの指導員のほか家庭児童相談員や母子自立支援員も常駐。さらに、ファミリー・サポート・センターも併設します。

また、育児で重要な部分を占める医療機関や保健センターなどとも連携し、それらとの結びつきを生かした相談対応や情報提供ができる体制を目指します。

【横手駅前】
児童センター

子育て支援
センター



2



1

1 ぽっぴくクラブは子どもも保護者も気兼ねなく過ごせる集いの場
2 移動型のわんぱくクラブ。この日は雨のため雄物川の『つどいの広場』を利用 3 新米ママさんが多いびよクラブは育児の情報交換が活発 4 さまざまなジャンルの講師を招いての育児講座も開催(約40組が参加した6月の『親子でスキンシップ』の様子)



4



3

各地域で特色ある活動実践

市内に8つある地域子育て支援センターの基本業務は、電話や来所による育児相談や子育て支援サービスの紹介などの相談窓口ですが、育児講座や各種サークル活動のお手伝いなど、各地域で特色ある活動を実施しています。

今回は、大雄子育て支援センターを例に、子育て世代の交流の輪を広げるための取り組みをご紹介します。

交流・情報交換の場を提供

たいよう保育園に併設されている大雄子育て支援センターは、旧田村小学校の校舎を利用しているため、ゆとりのある空間と整った設備が特徴。ここを拠点に3つの交流の場を提供しています。

乳児親子対象の『びよクラブ』と未就園児親子が対象の『ぽっぴくクラブ』は、毎月3回ずつ開催。対象児の境目は

交流の輪の広がりが 子育ての負担を軽くする

1歳半が目安ですが、子どもを連れてくるご家族の都合でどちらにでも参加できます。参加者は、遊びや読み聞かせを楽しみながら、互いに情報を交換しあう育児の悩みを解決したり、交流の輪を広げたりしています。今年度は施設の開放時間を延長して、参加者同士の十分な会話時間の確保にも努めています。

一方、毎月第3木曜日に開催している『わんぱくクラブ』は移動型の活動。他の地域の『つどいの広場』やプレイスポットに出かけ、普段とは違う遊びの場を提供しながら、市外出身者などで横手市内に詳しくない保護者でも、行動範囲と交流の拡大が図れるように取り組んでいます。こうした親子の交流や育児を支える活動は、各地域で異なります。まずは軽い気持ちで、お近くの子育て支援センターへご連絡ください。

「びよクラブ」の参加者に聞く

母親同士の気軽な会話が一番

(左) 土田優子さん・莉依ちゃん
(右) 佐藤紀子さん・乃愛ちゃん



何と言っても、お母さん同士で気軽に話ができることが一番ありがたいです。いろんな情報交換ができるし、気持ちもリフレッシュできます。びよクラブのおかげで知り合いになれた人も多くいて、親子も友達づくりにつながっています。

お友達の成長が見られるのも楽しいし、お友達をおしてわが子の成長や変化に気づくこともあります。保育園入園前に、遠足や運動会、毎月のお誕生会、クリスマス会などを経験できるので、子どもの中だけでは味わえない経験ができるので、子どもの成長にもいい面がたくさんあると思います。

総合支援の中核施設を整え 地域で子育てを支える

次世代育成支援地域後期行動計画の重点施策に位置づけられているのが、横手駅東口に建設が進められている横手市地域交流センター(仮称)2階に開所予定の横手市児童センター(仮称)です。子育て家庭に優しく、元氣あふれる地域づくりを目標に、子育て支援センター事業のさらなる充実を図るとともに、ファミリー・サポート・センターや相談窓口の機能も併せもつ、総合的な支援体制の中核となる施設を目指すものです。

また、市内で活動する子育て支援サークルなどをネットワーク化し、サークル活動の

次代の担い手づくりは地域の重要任務

次代の地域の担い手育成には、あらゆる分野の連携と協力が不可欠です。特に、働きながら子育てができる環境整備は、地域の大きな課題です。

来春、横手駅東口にできる児童センターは、子育て支援の中核施設として、より利用しやすい環境づくりと利用者のニーズに応えられる機能や体制を整える必要があります。どうか、この「次世代育成」を地域全体の重要任務ととらえ、よりよい施設整備や体制づくりにみなさんのご意見をお聞かせください。

横手市長 五十嵐忠悦

活性化を支援したり、事業協力などにより市民(サークルや団体等)と行政の協働がよりいっそう円滑に行われることを目指し、地域で子育てを支えられるまちづくりを進めていきます。



担当◆福祉環境部子育て支援課 ☎35-2133

大会フォトギャラリー
SNAP X SNAP



勝利を願い、熱い応援が続く



細川卓弥主将を中心に気合を入れる
雄物川高校の選手たち



長いラリーを制し、よるこびにわく選手たち
(予選Aブロック・聖隷クリストファー高校戦)



細川主将が2人を相手にボールを押し込む
(予選Aブロック・千葉県選抜戦)



ラインズマンを務める女子
部員の正確なジャッジ



最後まで勝利を目指し、相手に食らいつく
(決勝・聖隷クリストファー高校戦)



ブロックで相手の流れを断ち切る
(準決勝・市立尼崎高校戦)



雄物川、初の決勝進出
悔しい準優勝！

決勝トーナメント結果

雄物川	2 (25-20, 25-15) 0	優勝 聖隷クリストファー	聖隷クリストファー	2 (25-18, 25-13) 0	東京学館新潟
山形中央	2 (25-22, 16-25, 25-23) 1	準優勝 雄物川	千葉県選抜	2 (25-21, 25-19) 0	宇部商業
市立尼崎	2 (25-21, 25-15) 0	3位・4位決定戦	市立尼崎 (3位)	2 - 0	宇部商業 (4位)
川崎市立橋	2 (25-21, 25-15) 0	5位・7位決定戦	川崎市立橋 (5位)	2 - 0	山形中央 (7位)
			東京学館新潟 (5位)	2 - 1	千葉県選抜 (7位)

全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会
横手わか杉カップ

雄物川体育館 / 7.9 [FRI] ▶ 11 [SUN]

7月9日～11日の3日間、今年で3回目を迎えた『横手わか杉カップ』が雄物川体育館で開かれ、地元の精鋭・雄物川高校は、初の決勝進出を果たしたものの、聖隷クリストファー高校（静岡県）に一步及ばず、悔しい準優勝となりました。

第1回大会から4位、3位と順位を上げてきた雄物川高校は、今年3月の春高バレー3位入賞の勢いそのままに、本大会初優勝を目指し、全国の各ブロックから選抜された強豪7校を迎えて熱戦を繰り広げました。

雄物川高校は、予選Aブロックの初戦で聖隷クリストフ

波に乗る雄物川高校は、決勝トーナメントの1回戦、準決勝に進出。しかし、予選リーグの初戦で対戦した聖隷クリストファー高校に再び屈し、涙をのみました。

悲願の初優勝とはなりませんでした。雄物川高校の気迫あふれるプレーと選手たちを盛り立てる観客の力強い応援で『バレーボールのまち横手』を強く印象付けました。

また、大会には多くの地域ボランティアのほか、増田高校男子と雄物川高校女子のバレーボール部員がスタッフとして参加。礼儀正しく心のこもった対応は、円滑な大会運営の大きな力となりました。

アール高校と対戦。接戦の末に黒星でのスタートとなりましたが、雄物川伝統の粘り強いバレーを取り戻すと、続く千葉県選抜と市立尼崎高校（兵庫）をたて続けに撃破。予選Aブロックを見事1位で通過しました。



白熱した市立尼崎との準決勝

いつか僕も…
Vリーグの3選手がバレーボール教室を開催

大会2日目の7月10日。横手わか杉カップの会場で、社会人バレーボールのV・プレミアリーグで活躍するパナソニックパンサーズの宇佐美大輔（雄物川町出身）・福澤達哉・清水邦広の3選手が、市内中学校の男子バレーボールチームを対象にしたバレーボール教室を開きました。

3選手はいずれも植田辰哉監督率いる全日本男子チームのメンバー。子どもたちは、世界を相手に戦う憧れの選手を前に緊張しながらも、真剣なまなざしで各選手から基本的なプレーのポイントを学んでいました。

また、最後に「初めから上手な人はいない。目標に向かってあきらめず、とにかく行動することが大事」とアドバイスを受けると、子どもたちは元気な返事で応え、チームを大切にすることと目的に向かってつぎ進む努力を誓いました。



憧れの宇佐美選手の指導にみんな真剣



レシーブの指導をする清水選手



福澤選手がスパイクを実演

3年連続全国大会へ

栄光

全県制覇し全国大会へ

7月15日、宮城県利府町で第39回東北地区支部消防救助技術指導会(水上の部)が行われました。

水難事故での救助技術を競う大会で、全7種目のうち『溺者搬送』と『溺者救助』の2種目に市消防本部から4人の隊員が出場。2種目とも見事に優勝し、今回で3年連続の全国大会出場となりました。

8月27日に京都で行われる全国大会では、東北地区代表としての活躍が期待されます。



【消防救助】溺者搬送・溺者救助優勝
中川原 誠士長 照井 諭 消防士
新宮 良憲 士長 松下 修 消防士
(市消防本部)

秋田市の八橋陸上競技場で7月4日、第26回小学生陸上競技交流大会県予選会が行われ、男子80mハードルで十文字第一小学校6年の鈴木大我さん(十文字アスリートクラブ・記録12秒75)が、見事に優勝を勝ち取りました。

8月28日に東京の国立競技場で開催される全国大会に出場する鈴木さんは「11秒台の自己ベストを出して、優勝できるように頑張ります」と力強く語ってくれました。



【陸上】男子80mハードル優勝
鈴木 大我さん
(十文字第一小)

第22回 参議院議員通常選挙結果

第22回参議院議員通常選挙が7月11日に行われ、横手市分の投票率は秋田県選出、比例代表選出ともに65.62%で、前回と比べ3.75ポイント下回る結果となりました。

本市分の開票結果は次のとおりです。

参議院秋田県選出議員選挙

●得票数(届出順)

- 1 石井ひろお 28,158票 (328,771票 **当選**)
- 2 すずき陽悦 22,967票 (226,217票)
- 3 ふじた和久 3,110票 (36,320票)

※()は秋田県の総得票数

参議院比例代表選出議員選挙

●政党等の得票数

届出順	政党等の名称	得票数	届出順	政党等の名称	得票数
1	幸福実現党	146	7	社会民主党	1,736
2	みんなの党	9,560	8	たちあがれ日本	8,699
3	民主党	13,631	9	日本創新党	123
4	女性党	203	10	国民新党	792
5	自由民主党	11,768	11	公明党	3,994
6	新党改革	497	12	日本共産党	2,246

※上記得票数は、政党等の投票数と各候補者個人の得票数を合算したもので、小数点以下切り捨ての数値です。



◆当日の有権者数

県 男39,480人 / 女44,963人 計84,443人
比 男39,480人 / 女44,963人 計84,443人

◆投票者数

県 男26,714人 / 女28,698人 計55,412人
比 男26,715人 / 女28,698人 計55,413人

◆投票率

県 男67.66% / 女63.83% 計65.62%
比 男67.67% / 女63.83% 計65.62%

◆投票総数の内訳

県 有効投票54,235票 / 無効投票1,175票
比 有効投票53,402票 / 無効投票2,009票
持ち帰り：各2票

※**県**は秋田県選出議員選挙、**比**は比例代表選出議員選挙

駅本屋・自由通路新設の無事祈る

新しい横手駅舎工事安全祈願祭

7月9日、JR横手駅の駅舎本屋と東西自由通路の工事安全祈願祭が、新設される駅西口の建設予定地で行われました。

式典には、市やJR東日本秋田支社、工事関係者などおよそ60人が出席。五十嵐市長と河野浩一・JR東日本秋田支社長、藤森伸一・JR東日本東北工務所長が鉄入れなどの神事を行って、工事の無事を祈りました。

新しい横手駅は、線路をはさんで東側と西側に入り口を設け、アクセスの利便性を向



五十嵐市長などが鉄入れして工事の安全を祈願



駅本屋と東西自由通路からなる新横手駅のイメージ

上。両方の入り口を自由通路でつなぎ、2階中央部分に改札を設ける橋上駅舎に生まれ変わります。

東口には横手市の情報発信を目的としたスペース、西口には市民の交流スペースなどが設けられ、延べ床面積は約2,200㎡。改札が2階にあるため、エレベーター5基が新設されます。総事業費はおよそ27億円で、市が26億円、JR東日本が1億円を負担することとなっております。JR東日本では来年7月の営業開始を目指しています。

戦争犠牲者の御霊に平和を誓う

平成22年度横手市戦没者追悼式



戦没者への哀悼と平和への誓いを捧げた追悼式

8月15日の終戦記念日を前に、戦後65年目の市戦没者追悼式が、7月7日に横手市民会館で行われました。

式典には、遺族や市・県関係者など約400人が出席。開式にあたり黙とうを捧げて戦没者の冥福を祈ったあと、五十嵐市長は「国民の大半が戦争の悲劇を知らない今、悲惨な歴史を繰り返さぬよう、ご遺族の辛い記憶を未来に伝えなければならぬ」と式辞を述べました。

祭壇には、約4000柱の戦没者がまつられ、各地域の遺族会や傷痍軍人会などの代表者が犠牲者の鎮魂と平和を祈って献花。戦中・戦後の体験談発表では、十文字地区戦争遺児の会会長の高山昭信さんが、27歳の若さで戦死した父親と苦悩の末に病死した母親をしのび「恒久平和を築くことが、私たちに課せられた使命。時代とともに悲惨な戦争の感覚が希薄にならないことを願いたい」と穏やかな口調で語りました。

式では、よこて女声コーラスが哀悼歌を合唱し、しめやかに幕を閉じました。

災害時用の井戸を市に寄贈

奥山ボーリング(株)、社会貢献活動の一環で

7月14日、奥山ボーリング株式会社(奥山和彦社長)より、災害避難場所指定されている十文字第一小学校と浅舞公民館に、災害時用の井戸が寄贈されました。

井戸は、4月から工事が行われ6月に完成したもので、飲み水としては使用できませんが、避難者の洗濯水やトイレ用の貴重な水源として使用

できます。

十文字第一小学校の引き渡し式では、同社の奥山信吾専務が「災害は発生しないに越したことはないが、万が一の時には、有効に活用してほしい」とあいさつ。西野茂校長は「いざという時の安心感があり、社会科や理科の教材としても利用したい」とお礼を述べました。



井戸の具合を確認する奥山専務(左)と西野校長(右)

同社では、来年度以降も社会貢献活動の一環として、井戸を寄贈する予定です。

補助金 市民主体の活動を応援します！
平成22年度『みんなが主役のまちづくり活動補助金』の後期受け付けを開始します

- 市民の皆さんが主体的に行うまちづくり活動を支援するため『みんなが主役のまちづくり活動補助金』の申し込みを受け付けます。魅力あるまちづくりのため、ぜひ積極的にご活用ください。
- ◆目的
市民活動を元気づけ、地域の活性化を図るための主体的なまちづくり活動を応援します。
 - ◆補助対象者
市内の団体等で、新規の活動や既に取り組んでいる活動を拡充しようとする場合に補助金を交付します。
 - ◆補助対象経費
事業費が20万円以上の事業に要する経費としますが、団体等の運営経費、食糧費に相当する経費、その他適当でないと認められる経費は、補助対象外とします。
 - ◆補助金額
①補助率 補助対象経費の2分の1以内
 - ②限度額 事業1件につき50万円を上限に予算範囲内※継続事業の場合は、交付期間を原則3年とします
 - ◆補助金の決定方法
書類審査・ヒアリングにより、補助金交付の適否および予算の範囲内で補助額を決定します。
 - ◆受付期間
8月2日(月)～31日(火)
※原則として10月から翌年3月まで実施分となります
 - ◆申込方法
市地域づくり支援課、または各地域局地域振興課で配布している要綱をご覧のうえ、申請用紙に記入して提出してください。要綱、申請用紙は市のホームページからもダウンロードできます。
 - ◆問合せ
市総務企画部地域づくり支援課(本庁南庁舎内) ☎35-2158
ホームページ <http://www.city.yokote.lg.jp/>

特 区 横手市がどぶろく特区に認定されました～発酵に生きる - 横手Deux Broque特区～

- どぶろくの製造が可能になりました！
市では、国の構造改革特別区域計画『発酵に生きる - 横手Deux Broque特区』(どぶろく特区)を申請し、平成22年6月30日、内閣総理大臣より認定されました。
これにより、横手市でもどぶろくの製造が可能となりましたが、どぶろくを製造するためには、さまざまな条件があります。製造希望の方は問い合わせただいか、下記説明会にご参加ください。
- どぶろく特区説明会を開催します
どぶろく製造に興味のある方を対象に『どぶろく特区説明会』を開催します。
どぶろくをつくるための条件やクリアしなければならぬ課題、さまざまな疑問点などについて、分かりやすく説明しますのでぜひご参加ください。
- ◆日 時 平成22年8月11日(水) 午後1時30分～
- ◆場 所 横手市役所 本庁南庁舎 講堂
- ◆参加料 無料
- ◆問合せ 市総務企画部地域づくり支援課(本庁南庁舎内) ☎35-2158

- どぶろく製造のQ&A
Q：どぶろく、とはどのようなものですか？
A：次のいずれかに該当するものをいいます。
①米、米こうじ、水を原料として発酵させたもので、こさないもの
②米、水、特定物品(※)を原料として発酵させたもので、こさないもの
※特定物品とは、麦、粟、ひえ、きび、そば、とうもろこしなどと、デンプンもしくはこれらのこうじ、米こうじまたは清酒かすを指します。
- Q：誰でも製造できるの？
A：「農家民宿やレストラン、飲食店などを営む農業者」でなければ、どぶろくの製造はできません。
- Q：製造するための条件は？
A：どぶろくは、農業者自らが生産した米を原料としなければなりません。また、酒類製造免許の取得が必要です。特区内であっても、酒類製造免許を取得しなければ製造することができません。

横手やきそばプロモーションビデオ&ふるさとCM大賞出演者募集！

横手やきそばプロモーションビデオ&ふるさとCM大賞出演者募集！

【横手やきそばロック・ダンサー】

- ◆応募資格
①小学3年生以上の方
②8月下旬から9月にかけて数回行われる、振り付け練習会に参加できる方
- ◆申込み・問合せ
市観光物産課観光振興担当 ☎33-7111

昨年、全国のB-1グランプリ以降、その知名度がさらに上がった横手やきそば。市と横手やきそば暖簾会では、横手市を全県・全国各地にPRするため、横手やきそばのプロモーションビデオを作成し、併せて、秋田朝日放送のふるさとCM大賞出品作品の撮影を行います。
そこで、作品の中でBGMの横手やきそばロックに合せて踊っていただく市民エキストラを募集します。
みなさんの力で、一緒に横手をPRしましょう！

親子料理教室を開催します！ 家庭教育支援チーム事業

- 市では、家庭教育に関する学習機会の提供や孤立化の解消など、家庭での教育力の向上を図る総合的な取り組みを充実しようと『家庭教育支援チーム』を設けています。
- 活動内容
情報や学習機会、集いの場の提供、相談対応など、さまざまな状況にある子育て中の親を支援します。
 - 活動日時
月・水・金曜、午後1時～4時
(これ以外でも依頼があれば対応できます)
- さまざまな状況で子育てをしている親への支援を、地域と連携して積極的に行います。
- 例えば
○仕事などで学習機会に参加できない…
○子育てする上で孤立化している…
○どこに相談したら良いかわからない…
- ◆夏休み親子 de キッチン
家庭教育支援チーム事業の一環として開催します。簡単でおいしいランチを作りながら、親子で楽しい時間を過ごしてみませんか。
- *超簡単冷製トマトパスタ
日 時 8月10日(火) 午前10時～午後1時
場 所 旭ふれあい館
参 加 費 1人300円
申込締切 8月6日(金)
- *簡単ゴマだれつけめん
日 時 8月20日(金) 午前10時～午後1時
場 所 あさくら館
参 加 費 1人300円
申込締切 8月17日(火)
- ◆申込み・問合せ
市教育委員会教育総務部(雄物川庁舎内)
家庭教育支援チーム・生涯学習課 ☎22-2155

公共施設市民サポーターになりませんか？ サポーターを募集します

- 市では、市が管理する道路や公園などの公共施設の環境美化を担っていただく『公共施設市民サポーター』を募集しています。
- ◆活動内容の一部をご紹介します。
平成22年7月20日現在で38団体が登録・活動しています。
- 【団体名】又兵衛おたすけマン(雄物川地域)
【活動を通して…】
公共施設市民サポーターに登録し、活動を始めて3年目の又兵衛おたすけマン。年間4回ほど、道路脇に除草剤を散布して雑草の発生を防いでいます。代表を務める長谷川信義さんは「道路が整備されて交通量も増え、道路付近のごみも目立つ時期がありました。しかし、除草作業を行うようになって、きれいになった道路脇へごみを捨てる人もいなくなり、よりよい道路管理へつながっています」と話していました。
- 【活動内容】 除草作業をしました。(2010.07.13)
- 公共施設の清掃や除草作業などは市が定期的に行っていますが、市民のみなさんの協力を得ながらより行き届いた管理を行おうと、平成18年度から実施しているものです。(詳細は市ホームページにも掲載しています)
- 登録資格
個人、家族、学校、企業等の各種団体など、いつでもどなたでも登録できます。
- 活動内容
サポーターが指定した公共施設のごみ収集や除草作業、施設に関する情報提供など。なお、実施日時や活動回数などは各団体に一任します。
- サポーターへの支援
市では活動に必要な花苗、物品、用具の支給や市民サポーター名称入りの看板設置などの支援を行います。
- ◆問合せ
市建設部建設監理課(十文字庁舎内) ☎42-5112または、各地域局産業建設課

市長面会日のお知らせ

◆日 時 8月25日(水) 午前9時～10時30分
◆申込期限 8月20日(金) ※1人につき15分程度
◆申込み・問合せ 市総務企画部市長公室秘書担当 ☎35-2111(内線1033, 1034)

○市県民税2期 ○国民健康保険税2期
○介護保険料2期 ○後期高齢者医療保険料2期

納期限は8月31日です

◆納期限を過ぎる場合は
納税相談にお越しください。
◆市財務部納税課(横手庁舎)
☎32-2518

8月-August						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

補助金

市住宅リフォーム
促進事業補助金を終了します

横手市住宅リフォーム促進事業補助金の総額が予算の8,000万円に達しましたので、申請受け付けを終了します。ご活用、ありがとうございました。なお、秋田県住宅リフォーム補助金の取次ぎは継続して行っています。

◆受付件数 562件
◆補助対象工事費総額 14億7千万円
(平成22年7月21日現在)

◆問合せ
市建設部建築住宅課(横手庁舎内) ☎35-2224

敬老会

横手市敬老会を各地域で開催します

平成22年度横手市敬老会を市内15会場で開催します。対象となるのは、昭和11年4月1日以前に生まれた75歳以上の方で、それぞれの開催地区にお住まいの方です。

◆敬老会開催日程

地 域	開催日	時間	会 場	対象地区
横 手	9/4(土)	11:00	旭ふれあい館	旭地区
	9/4(土)		ふるさと館	境町地区
	9/5(日)		金沢中学校体育館	金沢地区
	9/8(水)		あさくら館	朝倉地区
	9/10(金)	10:30	武道館	中央地区
	9/11(土)	11:00	さかえ館	栄地区
増 田	9/11(土)		オアシス館	黒川地区
平 鹿	9/7(火)	11:00	増田体育館	増田全域
雄物川	9/6(月)	11:00	雄物川コミュニティセンター	福地・大沢地区
	9/7(火)			里見・谷地・館合地区
	9/8(水)			沼館地区
大 森	9/1(水)	11:00	大森体育館	大森全域
十文字	9/2(木)	11:00	十文字B&G海洋センター	十文字・三重地区
	9/3(金)		西地区館 体育館	植田・陸合地区
山 内	9/15(水)	11:00	山内体育館	山内全域
大 雄	9/3(金)	10:00	大雄農業者トレーニングセンター	大雄全域

◆各地域局福祉担当課（詳細はお問合せください）

横手地域局 ☎32-2710	大森地域局 ☎26-2115
増田地域局 ☎45-5514	十文字地域局 ☎42-5114
平鹿地域局 ☎24-1114	山内地域局 ☎53-2933
雄物川地域局 ☎22-2156	大雄地域局 ☎52-3905

議会を傍聴しませんか

市議会8月臨時会開催(予定)のお知らせ

傍聴を希望される方は、横手庁舎7階の傍聴席に直接お越しください。なお、団体での傍聴は事前に議会事務局までご連絡ください。

◆日 時 8月16日(月)午前10時から
◆場 所 横手庁舎6階議場（傍聴席は7階）
◆問合せ 市議会事務局(横手庁舎6階) ☎32-2535

補助金

横手の活性化のために、活用ください！
～各種補助金、2次募集のお知らせ～

■『商い賑わい創出事業補助金』
商店街等が商いと結びついたイベント等を実施する場合に補助します。

◆対象者
商工会議所、商工会、商店街振興組合、商店街(会)団体、事業者グループ(3店以上)、TMO等

◆対象経費
イベント等を開催する際にかかる経費

◆補助率
対象経費の1／2以内(上限30万円)

■『商いエキスパート(名人)育成事業補助金』
商店街等の事業者の資質向上、商店の魅力向上を図る事業に対し補助します。

◆対象者
商工会議所、商工会、商店街振興組合、商店街(会)団体、事業者グループ(3店以上)、TMO等

◆対象経費
研修会・勉強会・調査研究事業などにかかる経費

◆補助率
対象経費の1／2以内(上限20万円)

■横手市ものづくり創造支援事業～地域企業を応援します～
新技術の導入および技術の高度化を目指す意欲的なものづくり企業者の育成と、産業の活性化、雇用の促進を図るための事業を展開しています。

◆対 象 者 市内中小企業者または、市内中小企業者を含む企業連携する団体

◆対象業種 製造業および情報サービス業

【事業1】アドバイザー導入等支援事業

◆対象経費 専門家の謝金と移動に要する経費の一部

◆補 助 率 対象経費の10／10以内（上限60万円、おおむね3回程度の受入れに要する経費）

【事業2】産学連携スタートアップ支援事業

◆対象経費 指導料、施設利用料、外注費など

◆補 助 率 対象経費の1／2以内(上限50万円)

【事業3】ものづくり販路拡大支援事業

◆対象経費 出展料、装飾、工事費など

◆補 助 率 対象経費の1／3以内(上限50万円)

上記補助金事業の申込期限 8月31日(火)

*留意点
全事業の補助については、事業計画等の申請内容を審査し、予算の範囲内で可否を決定します。

*申込み・問合せ
市産業経済部商工労働課（増田庁舎内） ☎45-5516

=横手市ものづくり創造支援事業=

第一次事業採択を受けた企業は以下のとおりです

■アドバイザー導入等支援事業（1社）
(株)アクトラス

■産学連携スタートアップ支援事業（1社）
(株)大雄振興公社

■ものづくり販路拡大支援事業（2社）
(株)ファーストカスタム、工芸工房 かまくら商店

子育て

児童扶養手当等の受給者のみなさんへ

現在、児童扶養手当、特別児童扶養手当を受給されている方は、毎年8月中旬に所得額と受給資格の確認のため審査を受ける必要があります。該当する方には、市から通知書を送付していますので、内容を確認し『現況届』の手続きを忘れずに行ってください。

受給して5年以上経過した方には『一部支給停止適用除外事由届出書』も同封していますので、必要書類とともに提出してください。

なお、提出されないと受給資格がなくなり、認定請求ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

児童扶養手当の不正受給は絶対にダメ

申告内容を偽って手当を受給した場合、児童扶養手当法に基づいてお支払いした手当の全額を返還していただきます。また、3年以下の懲役が、30万円以下の罰金に処せられることがありますので、受給資格に変更があった場合は、速やかに手続きをしてください。

◆問合せ 市福祉環境部子育て支援課（大森庁舎内） ☎35-2133、または各地域局福祉担当課

墓園

十文字墓園の利用者を募集します

応募者多数の場合や区画場所等は抽選となります

【十文字墓園】横手市十文字町梨木字堤ノ上56番地

◆募集区画
○規制墓地(間口2m×奥行2m)・・・39区画
お骨を入れるカロート付きで、規定の墓石・台石・花立を建てていただきます。
【永代使用料170,000円、管理手数料2,000円(年間)】

◆申込条件
市内に現住所か本籍を有する方
※お墓がなく、遺骨を自宅等で保管している方を優先します。なお、火葬許可証が必要となります。

◆申込期限※土・日・祝日など閉庁日の受付不可
8月6日(金)～31日(火)、午前9時～午後5時

◆申込方法
十文字地域局市民福祉課窓口にある申請書に必要事項を記入し、提出してください。

◆申 込 先
十文字地域局市民福祉課 ☎42-5113

=申込状況を参考に次年度以降の墓園拡張を検討します=

【前郷墓園の工事のお知らせ】
現在、墓園拡張の工事を行っています。利用者募集は10月頃の予定ですので、詳細が決定しだい市報等でお知らせします。

◆拡張区画
○園路墓地(間口2m×奥行3m)・・・25基
○規制墓地(間口2m×奥行2m)・・・16基

◆問 合 先 横手地域局市民課 ☎32-2703

福祉医療

福祉医療費受給者証の番号が変わります

平成23年4月から義務化される医療機関等の電子請求に対応するため、平成22年8月から福祉医療費受給者証の受給者番号が変更されます。新しい受給者証は、交付日、有効期間が『平成22年8月1日』以降の日付となっています。各自でご確認のうえ、8月以降に医療機関等を受診する場合は、受給者証の提示を忘れないようお願いします。また、後期高齢者医療に加入されている重度心身障がい者については、新しい受給者証を7月下旬から順次送付しています。古い受給者証の有効期間は満了となっていませんが、8月1日以降は使用できませんので必ず破棄して、新しい受給者証をお使いください。☒

◆問合せ
市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186または、各地域局市民福祉課（横手地域局は市民課）

保育

～市立里見保育所（雄物川）～
10月から乳児保育を始めます！

10月1日から、市立里見保育所（雄物川地域）では、0歳児・1歳児の乳児保育が開始されます。入所児童を募集しますので、希望者はお申し込みください。

◆応募資格
仕事や病気などで、日常児童を保育できない家庭等

◆定 員
0歳児：3人、1歳児：6人

◆応募方法
8月2日(月)から募集を受け付けます。各地域局福祉担当課備え付けの申込書に記入し、必要書類を添付のうえ、雄物川地域局市民福祉課に提出してください。

◆問合せ
雄物川地域局市民福祉課保健福祉担当 ☎22-2156

募集

配食サービス事業者を募集します

ひとり暮らしの高齢者の自宅に栄養バランスのとれた食事を調理し配達すると同時に、利用者の安否確認を行っていただく事業者を募集します。

◆応募資格
市内に調理および配送拠点を設置できる業者

◆応募期間 ※土・日・祝日など閉庁日の受付不可
8月2日(月)～10日(火)、午前9時～午後5時

◆応募方法
市高齢ふれあい課まで電話にて応募

◆事業概要
【配達地域】 横手地域、大雄地域
【配達日時】 月・水・金、午後4時～5時
【配達件数】 1日100件程度 ※若干の変更あり
【委託期限】 平成23年3月31日

◆問合せ
市福祉環境部高齢ふれあい課(大森庁舎内) ☎35-2134

レベルアップでさらなる盛り上げを

■『横手やきそば職人』更新検定(横手)

7月9日、10日の両日にわたり『横手やきそば職人』の更新検定がかまくら館で行われました。最近の『横手やきそば』人気をさらに盛り上げようと、焼きそば作り技術のレベルアップを目的に実施されたものです。

平成14年に養成が始まった横手やきそば職人は、横手やきそば暖簾会による県内外でのイベント出店の際に、暖簾会会員とともに腕をふるうのが役割。そのため検定では、単に焼き方だけではなく、接客の面でもレベルを保つ必要があることから、横手やきそばの歴史や特徴、横手市の観光なども改めて学ぶ講習会を受け(写真上)、その後筆記試験と実技試験が行われました。

実技試験では、暖簾会の伊藤一男理事長ら3人が審査員となり、めんを焼く手順、目玉焼きの焼き具合、盛りつけ方などを細かくチェック。受検した28人の職人全員が見事に合格し、更新検定証を手渡されると、緊張の表情がとけて晴れやかな笑顔を見せていました。



暖簾会理事のチェックを受けながら横手やきそばを作る受検者

横手の元気印



横手バレーJr.スポーツ少年団が県大会初優勝

全日本バレーボール小学生大会へ出場決定



2年前に市内の4つの小学校から団員が集まり結成。現在は、3年生から6年生までの15人が、週2回の練習に集中して励んだ結果、今回の栄冠を手に入れました。

6月27日に秋田市で開催された全日本バレーボール小学生大会の県大会で、横手バレーJr.スポーツ少年団が男子の部で初優勝を果たし、8月11日から東京都で行われる全国大会に出場します。

赤川拓主将(横手南小・6年)は「優勝できて、うれしかった。一つひとつのプレーを大切に、ミスを少なくして仲間と一緒に全国の代表チームに挑戦したい」と力強く話してくれました。

チームを指導している赤川太監督は「子どもたちには、バレーボールを通じて日常生活でも自分で考え判断できる力を養ってほしい」と語っていました。横手バレーJr.スポーツ少年団にとって、この夏が充実した「暑い夏、になることを期待します」。



大きな声を出して、真剣な表情で練習に取り組んでいる団員たち。

秋田大学講演会「はやぶさ」



7月13日、秋田大学横手分校(市役所南庁舎講堂)でライブ配信による講演会が開催されました。小惑星探査機『はやぶさ』の経緯を、川口淳一郎氏が秋田大学で講演する模様がインターネット回線を使って流れ、150人あまりの受講者が今話題の宇宙開発の話に耳を傾けていました。

長谷川誠氏が市長を表敬訪問



7月13日、10月から日本プロバスケットボールリーグに参入する秋田ノーザンハビネッツの長谷川誠プレイングマネージャー(雄物川町出身)が五十嵐市長を表敬訪問しました。「地元秋田に拠点を置くことになる。試合だけでなく、子どもたちとふれあう機会を作り、夢や感動を与えていきたい」と語っていました。

行政情報便

information

教育

教育行政相談の窓口をご利用ください！

教育行政相談は教育行政に対する地域住民や保護者のみなさんの意見や考えを、的確に教育行政に反映させるための相談窓口です。

教育行政相談では、学校教育だけでなく生涯学習やスポーツの振興、文化財保護など教育委員会で取り扱う事務全般に関してのさまざまな問題に対する行政上の相談を受け付けています。市民参加の教育行政を進めるため、みなさんのご意見をお寄せください。

なお、相談内容等は秘密厳守ですので、お気軽にご相談ください。

●教育行政相談の詳細

◆日時 月曜から金曜(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分

◆相談員 教育委員会教育総務部・教育指導部各課長

◆受付方法

直接の来庁、電話、ファクス、郵送、メールでの受付

◆受付先・問合せ

〒013-0205 横手市雄物川町今宿字鳴田1
横手市役所雄物川庁舎2階 教育委員会教育総務部
教育総務課 総務担当 ☎22-2151、☎22-2116
✉kyoikusomu@city.yokote.lg.jp

農業

中山間地域等直接支払事業実施状況

平成21年度の『中山間地域等直接支払制度』の取り組み状況が確定しましたので実施状況をお知らせします。

地域名	協定締結数	参加農家数	交付対象面積(m ²)	交付金額(円)
横手	2	40	158,207	1,819,380
増田	25	671	3,461,986	26,903,563
平鹿	2	33	127,782	989,268
雄物川	13	114	607,240	5,148,360
大森	10	116	535,229	9,559,175
山内	30	526	2,920,532	26,148,604
合計	82	1,500	7,810,976	70,568,350

●中山間地域等直接支払制度とは

中山間地域は、農業生産活動等を通じて国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮しています。このため、中山間地域での耕作放棄地の発生防止、多面的機能の維持を図るために農業者等に対して直接、交付金を交付する制度です。

◆問合せ

市産業経済部農業政策課(増田庁舎内) ☎45-5522

桃

市長コラム ⑥

横手市長 五十嵐 忠悦

〆中異〆を捨てて大同につく
国民優先の国政を切望して

今回の参議院議員選挙の結果により、再び衆議院と参議院の与野党の議席数が逆転し、いわゆる〆ねじれ国会〆の状態となりました。このままでは、山積する課題の解決に向けた法案がまったく成立しないことも予想され、国政はますます混沌の度合いを深めています。

さまざまな〆格差〆によって地域が疲弊する中で、私たちは自分たちができる最大限の努力をしていかなければなりません。地方自治体には、国内経済や日本の置かれている状況は、国家の存亡に関わるほどの危機的な状況にあります。

そこで、今の国政に求めたいことは「小異」ならぬ〆中異〆を捨てて大同につく〆との姿勢を見せてほしいということです。今は、政局の主導権争いをしているときではなく、国政で取り組むべき課題の解決に向

けて、与・野党を越えて最大限の努力をするとき。国政を預かる国会議員あるいは各党が同じテーブルに着き、きちんと議論した上で、政策を実現するための接点を見つける努力をしてほしいと思います。

また、その議論の行き着く先は、各政党の利害でなく『国民の生活』であることを忘れてはなりません。そう考えると、やるべきこととその方向性は自ずと見えてくるはず。具体的にいえば、まずは米軍基地問題に代表される安全保障、そして税制改革、国家公務員改革、国会議員の定数削減、そして何よりも産業振興による景気回復の実現です。消費税をどうするかは、それらが前進するいは解決されてこそ議論されるべき課題ではないでしょうか。

少子高齢化と人口減で、地域社会は崩壊への道を歩んでいます。若者がいないのではなく、いることができない〆社会〆。その打開に向けて、私たちは努力を続けていますが、地域の取り組みだけでは解決できない現実があります。特に、産業の空洞化が私たちの生活に大きな影を落としていることは明白です。各党による連立云々ではなく、真剣な議論によって国民を導いてくれる政治の実現を切望しています。

高齢者の事故多発に警戒！

■交通安全指導者講習会(横手)

7月15日、市役所南庁舎で『交通安全指導者講習会』が行われました。これは、市内で高齢者の係わる交通事故が多発していることを受け、交通指導隊や交通安全母の会など、交通安全の指導者を対象に行われたもの。参加した約150人は、横手警察署・保坂交通課長の講話から、高齢者の係わる事故の現状や高齢運転者への指導法などを聞いたほか、横断歩道を渡る疑似体験ができる歩行環境シミュレーター『わたりジョーズ君』を使った体験型講習を受講しました。



『わたりジョーズ君』で道路横断のシミュレーションをする参加者



グランドチャンピオンに輝いた深瀬康子さん(中央)

グランドチャンピオンに深瀬さん

■第20回あやめ杯民謡大会(平鹿)

7月19日、浅舞公民館で第20回あやめ杯民謡大会が開催され、88人が自慢の喉を競いました。今大会唯一の県外からの出場者である高橋宏絵さん(宮城県塩釜市)が、『宮城長持唄』を見事に唄いあげ優勝しました。

また、節目の開催を記念し、第11回大会から今大会までの優勝者によるグランドチャンピオン大会が催され、いずれ劣らぬ喉自慢の競演が実現。接戦の末、第11回大会優勝者の深瀬康子さん(大仙市)が『秋田おはら節』で制し、満員の客席から大きな拍手が贈られました。



晴天の下、横荘線跡沿いにウォーキングを楽しむ参加者

昔を想いながら自然の中を歩く

■第10回横荘線メモリーウォーキング

民間鉄道『横荘線』の路線跡を歩く『第10回横荘線メモリーウォーキング』が7月19日に開催されました。昭和28年に部分廃止された東由利老方駅から雄物川町二井山駅までの約12kmがウォーキングのコース。横手市、由利本荘市を中心に参加者が集まり、晴天の下、緑豊かな自然を満喫しながらウォーキングを楽しみました。

横荘線が廃止されたのは昭和46年。今では緑深くなった里山の路線跡に、当時を想いながら足を進める参加者もいるようでした。

横手川の水と景観を五感で味わう

■横手川と紫陽花に親しむ茶会(横手)

7月11日、蛇の崎橋近くにある観音寺鐘つき堂下で、紫陽花を愛でながら野点を楽しむ催しが開かれました。これは『横手川水辺のふれあいフェスタ実行委員会』の活動として、横手川沿いに紫陽花を植栽している紫陽花回廊運動株主会が主催したもので、同会員や市内の茶道関係者らが参加。市内の4菓子店(かぶき屋、木村屋商店、小松屋本店、フレンドール)が販売するオリジナルの創作菓子『あじさい回廊』とともに、山内三又から汲み入れた横手川の源流水を使ったお茶を楽しみました。



横手城南高校と横手南中学校の茶道部がお点前(てまえ)を披露



ディスクを投げ、輪に入った数を競うフライングディスクを楽しむ参加者

スポーツで汗を流し、交流を深める

■横手市障がい者スポーツ教室

7月13日、誰もが気軽にできるスポーツを楽しむ教室が、横手体育館で開かれました。これは、日ごろ自宅で体を動かすことが少ない人を対象に、健康づくりや交流を深めることを目的に県内各地で行われているもので、約50人が参加。6人ずつのチームに分かれて卓球台を囲み、鈴の入ったボールをラケットを使って3回以内に相手コートに返す『卓球バレー』や『フライングディスク』に汗を流しました。会場には、梅雨の蒸し暑さも吹き飛ばすような参加者の元気な声が響いていました。

野球人生の教え「普段の生活大事に」

■元プロ野球選手・達川光男氏が講演(大雄)

7月14日、プロ野球の広島東洋カープなどで選手、監督、コーチとして活躍した達川光男氏の講演会が、大雄中学校で開催されました。同校PTAと大雄地域づくり協議会との共催で2年後に迫った同校の閉校記念行事として開き、同校生徒とPTA会員、地域住民など300人が聴講しました。達川氏は、夏の甲子園優勝という栄光の陰に幾多の苦難があった高校時代のエピソードを披露し「目標に向かって少しずつ意識して行動すれば夢は叶う。普段の生活を大事にしよう」と熱く語りました。



熱い講演に引き続き、野球の実技を“熱血、指導する達川光男氏(右)

JAおものがわスイカ出発式 (雄物川)



7月20日、関東市場へ向けた、JAおものがわのスイカ出発式が営農流通センターで行われました。出荷されたスイカは、雄物川地区で主力品種として栽培されている『あきた夏丸』。その後の試食会では「今年も甘さは十分」との声が聞かれました。参加した関係者はこの夏のさらなる消費拡大を願っていました。

田楽灯ろうコンクール (大森)



7月19日、田楽灯ろうコンクールが行われ、大森地区の子どもたちがキャラクターや願いごとなど、思い思いに描いた126本の灯ろうを手に町内を練り歩きました。午後7時、大森太鼓の演奏を先頭に、赤レンガ蔵をスタートした子どもたちは、灯ろうを手に約3kmの道のりを元気よく歩きました。

十文字朝市大抽選会 (十文字)



毎月3・7・0のつく日に開催される十文字の朝市。日ごろの感謝を込めた『大抽選会』が、7月17日に朝市会場で行われました。空クジ無しの豪華な賞品が用意されることもあって、朝早くから補助券を片手に集まったお客さんで大にぎわい。特等や1等の賞品が抽選されるたびに歓声が上がっていました。

かまくらが自販機のデザインに (横手)



7月14日、『かまくら』と『横手やきそば』がデザインされた、清涼飲料水の自動販売機がかまくら館に設置されました。地域に密着した活動の一環として、横手市の魅力を発信できるようキンビバレッジ株式会社東北地区本部が設置。今後、集客が見込まれる県内の観光スポットや宿泊施設などに設置が予定されています。

情報

information

【お知らせ】都市計画施設等の変更図を縦覧しています

都市計画区域の拡大に伴う、都市計画施設等の名称変更に関する図書を長期縦覧しています。

◆場所／市建設部都市計画課（十文字庁舎内）
◆問合せ／市建設部都市計画課
☎42・5117

【講座】第4回育児講座「りんごの収穫体験しましよ！」

増田町・泉谷ファームでお日様をいっぱい浴びたりんごを収穫しませんか。雨天時はたこ焼きづくりをします。

◆日時／8月27日（金）午前9時45分受付開始～11時30分
◆集合場所／増田町ふれあいプラザ（現地までバス移動）
◆定員／親子20組程度
◆参加費／500円
◆申込み／増田町子育て支援センター ☎45・4637

【お知らせ】集落排水台帳システム整え準備を行います

大森、十文字地域の集落排水整備区域を対象に、測量業者が宅地内に立ち入ることがあります。ご協力をお願いします。

◆調査期間／8月上旬～11月中旬
◆問合せ／市上下水道部下水道維持課 ☎32・2781

【催し】あいあい☆広場 第3弾 おえかきだいぼうけん！

壁一面の大きな紙にお花畑や動物園を描きましょう。（水彩絵の具、クレヨン持参）

◆日時／9月9日（木）午前10時～正午、あさくら館
◆対象／市内在住の未就園児と保護者（15組）※参加無料
◆申込開始／8月4日（水）午前9時
◆申込み／朝倉公民館
☎35・2138

【講座】「横手川から見た横手のまちの再発見」講座の開催

市史編さん推進員の伊藤武士氏による横手地域中央地区の歴史文化講話と現地学習会です。

◆日時／【講話】9月4日（土）午前9時30分～11時30分
【現地学習】9月18日（土）午前9時～正午
◆場所／横手中央公民館ほか
◆申込開始／8月5日（木）午前9時（定員15人）

【講座】横手市手話奉仕員養成基礎講座（全25回）の開催

◆日時／8月24日（火）～平成23年1月25日（火）毎週火曜日、午後7時～9時、8月28日（土）10月9日（土）・11月6日（土）・12月4日（土）・平成23年1月29日（土）、午後1時～3時
◆場所／かまくら館、サンサン横手
◆対象者／18歳以上で入門講座修了者、またはそれに準ずる方
◆参加費／無料
（テキスト代1,470円）

◆申込期限／8月13日（金）
◆申込み／横手地域局福祉課
☎32・2710

【お知らせ】ホームヘルパー2級資格取得受講料の一部を助成

◆対象／現在離職中かつ求職中の市内在住者で、平成23年3月末まで資格を取得できる方
◆申込方法／各地域局市民福祉課（福祉課）備え付けの申請書を窓口提出
◆問合せ／市福祉環境部社会福祉課 ☎35・2132

【催し】「親子交流会」参加者募集

ひとり親家族、障がいを持つ家族、交通遺族の親子を対象とした交流会を実施します。

◆期日／8月29日（日）
◆場所／保呂羽山少年自然の家

◆問合せ／横手中央公民館 ☎32・3137、33・3995

【講座】「プロが教える夜間ゴルフ教室」の開催

◆日時／8月24日（火）～9月28日（火）毎週火曜、午後7時～8時（計6回）最終日はコースラウンド
◆場所／羽後カントリー倶楽部練習場（定員20人）
◆参加費／3,000円（練習球代は自己負担）

◆申込期限／8月20日（金）
◆申込み／大森生涯学習センター ☎26・4073

【講座】横手市雇用創出協議会「パソコン・就職支援講習」

※アンケートによる選考あり
◆日時／8月18日（水）～25日（水）の平日6日間、午前9時～午後4時
◆場所／しすてむ工房（外ノ目）
◆申込み／横手市雇用創出協議会事務局（市商工労働課内）
☎45・3990

【募集】「かまくら館ふれあい事業」を募集します

広く市民の皆さんに楽しんでいただける事業を開催する団体や個人の方に、かまくら館の会場使用料を補助する事業です。

◆募集期限／8月31日（火）

【講座】ひとり親家庭の方対象 講習会

◆定員／4歳から中学2年生までの親子30組
◆参加費／4歳以上200円、中学生以上500円
◆内容／野外炊飯、創作活動
◆申込期限／8月20日（金）
◆申込み／市福祉環境部子育て支援課 ☎35・2133

◆【介護員養成研修（2級課程）】期間／【講義】9月4日（土）～10月30日（土）毎週土・日曜日
【実習】11月1日（月）～12月22日（水）の平日4日間

◆場所／【講義会場】秋田県ひとり親家庭就業・自立支援センターほか【実習先】横手市社会福祉協議会（※定員30人）
◆受講料／6,800円

◆申込期限／8月24日（火）
◆申込み／市福祉環境部子育て支援課 ☎35・2133

【募集】「いのちのフォトコンテスト」作品募集

日々の暮らしの中でいのちの輝きを感じたとき、ほっとしたときを作品にしてみませんか。

◆応募資格／市内在住の方
◆応募規定／①「いのち」をテーマにした写真（人物の場合は本人の承諾必要）②未発表の作品で四切のカラープリント写真、デジタル写真も可

③1人1点④入賞作品を市が活用する場合あり
◆申込方法／住所、氏名、年齢、電話番号、写真タイトルを明記し、郵送か持参で応募先まで
◆各賞／特選1点、優秀賞2点、佳作3点（※発表10月末）
◆応募期間／8月2日（月）～9月17日（金）当日消印有効
◆応募先／市福祉環境部保健衛生課（横手市大雄字三村東18）
☎35・2185

◆【展示部門】
◆期日・場所／9月26日（日）・横手市民会館ホール
【ステージ部門・2日目】
◆期日・場所／10月2日（土）・かまくら館2階ホール

◆【展示部門】
◆期間／9月25日（土）～10月17日（日）※ただし月曜日・火曜日は作品入替のため展示休止
◆場所／かまくら館5階
◆申込期間／8月2日（月）～20日（金）
◆申込み／横手生涯学習センター ☎35・2138

雄物川衛生センターの施設運転停止について

雄物川衛生センターは、施設整備工事のため下記の期間の運転を停止します。この期間のし尿処理は、横手衛生センター1箇所で行いますが、し尿の収集については影響の無いように努めますのでご理解をお願いします。

◆運転停止期間／9月4日（土）～10月11日（月）
◆問合せ／雄物川衛生センター ☎22-5346

「よこて送り盆まつり」橋上観覧席を追加販売

8月16日に開催される『よこて送り盆まつり』。迫力ある屋形舟のおつけ合いを間近で見ることのできる蛇の崎橋、橋上観覧席をまつり当日に追加販売します。横手川上流側歩道に大人3人が座れる縁台を50台用意します。

◆販売開始／8月16日（月）午後5時～、観覧席の入場は午後6時～、事前予約は受けません
◆販売場所／蛇の崎橋上流側歩道の受付（橋の両たもと）
◆価格／1人 1,000円
◆注意事項／観覧席内は禁酒、カメラの三脚の持込禁止
◆問合せ／（社）横手市観光協会 ☎33-7111



休館日

	8月2・4・11日	ゆとり館	8月3・10・13日
増田図書館	8月2・9・16日	えがおの丘	8月2・9日
平鹿図書館	8月2・3・10日	三吉山荘	8月3・10・17日
雄物川図書館	8月2・4・11日	大森健康温泉	8月2・9・13・16日
大森図書館	8月2・3・10日	ゆとりおん大雄	8月5・19日
十文字図書館	8月2・4・11日	南部シルバーエリア	8月9・16日
山内図書館	8月1・7・8・14・15日	(プールは休まず営業します)	
大雄図書館	8月2・5・9・12・15・16日	健康の駅トレーニングセンター	
雄物川資料館	8月2・9・16日	東部	8月4・11日
ゆっぴる	8月25日	西・南部	8月1・7・8・14・15日

診療所

【増田地域】		【雄物川地域】	
増田町診療所(耳鼻咽喉科)		えがおの丘診療所	
診療日	8月4・11日(水)	診療日	8月4・11日(水)
診療時間	14:00～15:30	診療時間	14:30～15:30
		大沢診療所	
		診療日	8月9日(月)
		診療時間	13:30～14:30



横手ばら会 栽培技術講習会『秋に花を咲かせる夏の手入れ』
●日時／8月15日(日)午前9時30分～ ●場所／横手公園ばら園 ●参加費／無料 ●持ち物／せん定はさみ、軍手 ●問合せ／横手ばら会 藤本さん ☎32-6177

自然を愛する皆さんの集い
●日時／8月15日(日)午後1時開演 ●場所／煉瓦屋(寿町) ●内容／講演と実演「動かしやすい体づくり」など ●参加費／800円(軽食付) ●問合せ／煉瓦屋 ☎33-2811

横手読書会8月例会
●日時／8月20日(金)午後2時～ ●場所／女性センター ●演題／ブラジル移民の赤ひげ先生 ●講師／押切宗平氏 ●問合せ／横手図書館 ☎32-2662

ほろっとキッズ『チャレンジ!雄物川カヌーツーリング』
●期間／8月21日(土)～22日(日) ●場所／保呂羽山少年自然の家、雄物川 ●募集対象／小学生(3年生以上)・中学生とその保護者、先着25人 ●参加費／2,500円(宿泊・食費・保険代) ●申込期限／8月11日(水) ●問合せ／ほろっとキッズ 高橋さん(沼館保育園) ☎22-4511

環境と暮らしを考える映画とトークの集い
●日時／8月22日(日)午後1時30分～4時 ●場所／雄勝文化会館 ●内容／映画:ミツパチの羽音と地球の回転、トーク:鎌仲ひとみ氏 ●参加費／1,000円 ●問合せ／あきたエコマイスター県南協議会 照井さん ☎090-4314-3284

『ダンボール堆肥づくり講習会』
●日時／8月25日(水)午後1時～3時 ●場所／横手保健所 ●定員／20人 ●参加費／無料(アンケートあり) ●申込み／横手平鹿地域ごみゼロあきた推進会議事務局(横手保健所環境指導課内) ☎45-6139

雄物川ドリームチーム ☆ 2010
秋田ノーザンハビネッツ長谷川誠ブレイングマネージャーも参加!
高校、大学、実業団等で活躍した雄物川中学校バスケットボール部OBで結成された『雄物川ドリームチーム』が、雄物川地域の小・中学生を対象にバスケットクリニックやミニゲームを行います。
◆日 時／8月14日(土)8:15(開場)～16:00
◆場 所／雄物川体育館(入場無料)
◆問合せ／雄物川ドリームチーム実行委員会 大日向さん ☎090-1309-8880

東北楽天イーグルスVS埼玉西武ライオンズ戦を観戦して、『子育て情報交換』や『素敵な出会い』を見つけてみませんか!
●親子の部
◆期日／9月5日(日) ◆内容／野球観戦 ◆定員／15組(小学生以下の子どもとその保護者)※子ども1人に大人1人 ◆参加費／1組3,000円
●独身男女の部
◆期日／9月4日(土)～5日(日) ◆内容／野球観戦、キリンビール工場・三井アウトレットパーク仙台港見学 ◆定員／40人(20歳～50歳の独身男女)※県南在住または勤務の方 ◆参加費／男性6,000円、女性5,000円
●申込み ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を記入して〒013-0036 横手市駅前町2-5 羽後交通観光横手営業所内『プロ野球観戦ツアー係』まで。
●締切り 8月23日(月)到着分まで。応募者多数の場合は抽選とし、当選者には電話連絡します。
●問合せ 大森スポーツクラブさくら ☎26-4073
NPO法人よこてスポーツクラブ ☎33-2102

いどばたプラザ
idobata plaza

JAおものがわ女性部】入場無料
●期間／8月1日(日)～24日(火)、午前9時～午後5時【料理教室】かに飯・豚肉の包み焼き・さっぱり漬など
●日時／8月21日(土)午前9時50分～ ●参加費／1,000円(材料費・保険料込) ●定員／20人 ●申込期間／8月1日(日)～16日(月) ●持ち物／エプロン、筆記用具 ●申込み／南部シルバーエリア ☎26-3880

第8回夏休み公開講座『どうぶつのお医者さん』
動物のお医者さんを目指している方、興味のある方、現役獣医科の学生さんと語ってみませんか。
●日時／8月7日(土)午後1時30分～3時 ●場所／横手市民会館 ●参加費／無料 ●問合せ／村岡さん ☎36-1331

第2回横手川鮎釣^{あな}り講習会
●日時／8月14日(土)午前7時30分～正午 ●場所／横手川羽根山橋オトリ販売所 ●参加費／無料 ●その他／遊魚券、おとり鮎持参 ●問合せ／竹谷さん ☎090-6220-4207

送り盆まつりに、浴衣で、ぶらっと出かけてみませんか
着付けのお手伝いや浴衣の貸出を行います。
●日時／8月15日(日)午後4時～7時 ●場所／かまくら館4階 ●費用／着付け無料、貸出一着500円※予約は不要です ●問合せ／高橋さん ☎32-2949

2010年『平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう』集会
終戦記念日に世界の平和、夢、希望の願いを込め、みなさんの手で鐘を鳴らしてみませんか。
●日時／8月15日(日)正午 ●場所／西法寺(平鹿町上吉田) ●問合せ／横手ユネスコ協会 ☎32-9683

第15回は・は・は祭 8月8日(日)開催
平成8年8月8日に”ははは”の語呂合せで始まった『は・は・は祭』。屋台や楽しいイベントが盛りだくさん。
◆場所／雄物川町今宿商店街通り
◆内容／【第1会場 旧よねや駐車場】
16:30～ オープニング(吉田小マーチングバンド)
17:15～ 雄物川高校吹奏楽部演奏
17:50～ 餅まき・まんじゅうまき(第1回)
18:00～、19:40～ よさこいソーラン競演
21:20～ 餅まき・まんじゅうまき(第2回)
【第2会場 北都銀行駐車場】
16:30～ ビアガーデン&ライブステージ
◆問合せ／『は・は・は祭』実行委員会(よこて市商工会雄物川拠点センター内) ☎22-2139

献血日程

月日・地域	実施場所	実施時間	種類
8月3日(火) 横手	住友生命保険秋田支社県南分館	10:00～11:00	全血
	北都銀行横手西支店	11:30～12:30	
	ビハーラ横手	15:15～16:15	
8月8日(日) 横手	イオンスーパーセンター横手南店(骨髄バンク登録会同時開催)	10:00～12:00 13:00～16:00	
	横手市役所 大森庁舎	10:00～11:40	
8月10日(火) 大森	㈱ヌイテックコーポレーション秋田工場	12:00～12:45	
	JA秋田ふるさと営農経済部(旧八沢木支所)	14:00～14:45	
	大森町高齢者等保健福祉センター	15:15～16:15	

巧

Vol. 57

菓子職人

魅力ある菓子作り、店作り その先にある地元への愛

芸術作品としての要素が大きく、味だけでなく見た目も重要とされる和菓子。夏の暑さを和らげる、涼しげな水まんじゅうやわらび餅がショーケースに並ぶ『confectionery かしの木』。店内には「お菓子屋さん、独得の甘い香りが漂い、訪れた人を幸せな気持ちにしてくれる。

家業の菓子店を継いだのは22歳のとき。それまでの注文和菓子だけでなく洋菓子を取り扱い、商品開発や店舗経営など、全てを一人でこなした。「父から一任されて不安はあったが、いつかは継ぐだろうという心構えはあった」と、当時を振り返る。

平成12年に現在の雄物川今宿商店街に店舗を移転し「正直な商売」をモットーに、常にお客さんの満足を考えた菓子作り・店作りを追求してきた。「菓子にも流行がある。昔に比べて種類も口にする機会も増えたから、お客さんは目も舌も肥えている。変わらぬ味を守るのも大事だが、飽きさせない努力も必要になってきた」と語るその眼は厳しい。これまでの経験に甘えることなく、挑戦し続ける巧は、機会を見つけては県外で行われる講習会に参加し、技術や知識を蓄える。店には一年を通して置かれる菓子のほか、季節に合った菓子が並ぶ。試行錯誤の末に完成した菓子が売れたときの喜びは一人だ。

菓子職人として厨房に立ち続け約40年。「この土地に愛着があり、商店街全体に活気が溢れてほしいと思っている。だからこそ、遠方からでも「買いに行きたい、と思ってもらえる菓子が作りたい。そんな魅力のある店作りがしたい。そこから街全体に人が来るようになればいい」と微笑む巧。その言葉から菓子作りに対する情熱が伝わってくる。

「おいしかった」
この一言が 次への原動力になる。



加賀屋 厚さん(60歳・雄物川)

かがや あつし
昭和25年、旧福地村生まれ。地元の高校を卒業後、上京し製菓専門学校に進学。その後、横手市内の菓子店で修行を積み、22歳のとき家業の菓子店を継承。平成12年に『confectionery かしの木』を開店し、和洋菓子を提供し続けている。息子・直さんの作るキャラクターケーキも人気商品の一つ。



【提供】
(社)横手市観光協会
☎33-7111

今月の読者 プレゼント

横手やきそば
サクサクかりんとう

昔なつかしい揚げクッキーのような食感に、ふんわり薫るソースの香ばしさ。国産小麦と丸大豆おから入りでヘルシーさも満点の「横手やきそばサクサクかりんとう」を、10名様にプレゼントします。

あとがき

小惑星イトカワの砂を採取し、地球に再び戻ってくる偉業を達成した小惑星探査機「はやぶさ」。

エンジンの故障など数々のトラブルを乗り越えながら、60億kmの道のりと7年の歳月をかけた宇宙の旅が無事終了しました。はやぶさは、大気圏に突入し燃え尽きてしまいましたが、最後まであきらめなかったことが、最後を、夜空の向こうから伝えてくれたような気がします。最近、星をゆっくり眺める機会も少なくなりましたが、夏休みに上げた子どもと一緒に、夜空を見上げてみたいと思います。(久和)

ふれあい 語り合い



読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

子どもが生まれるまで「バリフリー」という言葉は障がい者のためだけのものと思っていました。娘が生まれて1年。ベビーカーを押して外出することが多くなり、たくさんの方所でバリフリーのありがたみを感じています。車いすの利用者もベビーカーを押すママも同じですものね。実際その立場になってようやく気付いた大変さや便利さ。身近にあっても気付かないことって意外とありますね。(ひーたんままさん・28歳・横手)

我が家で市民農園を借りて3年目になります。畝を立て、種をまき、苗を植え、気温も上り、野菜たちは順調に育っています。始めた頃はまだ小さかった娘も、もう5歳。草むしりや水やり、下の子のお世話など、今では重要な一員です。家族全員、まずは夏野菜の収穫が楽しみです。(Y・Sさん・36歳・横手)

横手に単身赴任して3カ月。一人暮らしは寂しいものです。健康のためにと会社まで約4kmを週3回ほど歩き始めました。途中すれ違う小学生から「おはようございます」と元気なあいさつをもらいます。このひと言は、朝一番のごちそうです。元気が出ます。ありがとう。(ルート66さん・52歳・横手)

明治維新となり祖父の戸村義得が横手城主から鹿角、河辺、平鹿の部長を歴任したあと、秋田県に銀行がなかったの、明治13年秋田市に独自で資本金6万円を投じて「秋田四十八銀行」(全国で四十八番目の創立の意)を創立し、初代頭取に就任した。だが、十数年後に倒産。その後、横手町長となり、明治38年奥羽線開通にともない駅舎を建てることになり現在の場所に決定したが、当時は正平寺のうしろから田んぼで人家もなく「田んぼながさ駅建で、ばがだ町長だ」と、町民は自宅に集団で石を投げたりその他いろいろといやがらせを浴びせたが駅舎は完成した。しか

我が家では、自宅の庭で家庭菜園を毎年やっています。年々野菜の種類が増えてきましたが「長なす」だけはいつも植えています。その理由は、自分をここまで育ててくれた親に長なすのように少しでも長生きしてもらえるように、長なすを送るためです。日頃の感謝の気持ちを、言葉にはしにくいので、このような形にして伝えています。(出羽の黒狸・54歳・大森)

おたよりお待ちしています

読者の声「たより」は、読者の皆さんのページです。市への意見や市報の感想などを、はがきや封書、ファクスで左記のあて先までお送りください。おたよりには、必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。(市報に掲載する場合にペンネームがイニシャルを希望する方は、氏名の後に記入してください)

なお、おたよりをくださった方の中から、抽選で『読者プレゼント』の商品を差しあげます。応募方法は27ページをご覧ください。

「たより」のあて先
〒013-8601
横手市条里二丁目1番64号
横手市役所市長公室 広報広聴担当 まで ☎33-6061
(「たより」と明記してください)

※ご記入いただいた個人情報は、記載内容の確認および商品の発送の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

し奥羽線開通式を目前にして祖父は病死。そうした祖父を思い、文化都市横手にふさわしい橋上駅舎の完成が待たれることである。

(戸村明子さん・横手)

1905(明治38)年に開業した横手駅は、そこを行き交う人々とともにさまざまなドラマを刻んでいます。横手の新たな玄関口は約1年後に全貌を明かし、さらに多くの人の往来を見送ります。

暮らしのカレンダー

8/1▶20

1 日	雄物川郷土資料館第2回特別展『佐野江洋画人展』 ▶～9月26日、雄物川郷土資料館 ☎24-3480 ゆっふる 15周年記念イベント▶13:00～ 道の駅さんない納涼祭2010▶10:00～15:00 急 市立横手病院(磯部医師) ☎32-5001 児 平鹿総合病院(岡田医師) ☎32-5124
2 月	法 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館) ▶10:00～12:00、社協・平鹿福祉センター ☎24-3283
3 火	心 社協・山内福祉センター(ゆうらく館)
4 水	法 社協・横手福祉センター(四日町)▶10:00～12:00/ 13:00～15:00、社協・横手福祉センター ☎33-8668 心 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館)
5 木	心 社協・横手福祉センター(四日町)
6 金	ねむり流し 行 横手地域局 1階総合案内▶13:00～15:00 心 十文字町幸福会館
7 土	南部シルバーエリア夏祭り▶18:00～20:00
8 日	は・は・は祭▶詳しくは24ページ 急 福嶋内科医院(横手) ☎33-9311 児 平鹿総合病院(石橋医師) ☎32-5124
9 月	
10 火	行 心 大森コミュニティセンター▶9:30～12:00
11 水	心 雄物川コミュニティセンター
12 木	税 社協・横手福祉センター(四日町)
13 金	みどりの朝市感謝デー開催! 日 時/8月12日(木) 5:30～ 場 所/横手地域局駐車場(秋田銀行横手支店側) 問合せ/横手地域局産業建設課 ☎32-2718
14 土	
15 日	横手送り盆まつり▶～16日 横手市成人式▶10:00～、横手市民会館 今泉祇園囃子▶9:00～、十文字町睦合川前集落・永泉寺前 急 市立横手病院(高橋正樹医師) ☎32-5001 児 平鹿総合病院(無江医師) ☎32-5124
16 月	たらいこぎ祭り 増田の盆おどり▶19:30～、中七日町通り、雨天の場合は 17日に順延、増田町観光協会 ☎45-5311 法 増田地区多目的研修センター ▶10:00～12:00、社協・増田福祉センター ☎45-4848
17 火	心 社協・山内福祉センター(ゆうらく館)
18 水	ひらかまち盆踊り▶19:30～、平鹿地域局前通り 法 市役所南庁舎▶13:00～15:00、市総務課 ☎35-2161 (予約の受付は8月2日から) 心 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館)
19 木	行 雄物川保健センター▶10:00～12:00 心 社協・横手福祉センター(四日町) 心 増田地区多目的研修センター
20 金	法 大森コミュニティセンター ▶10:00～12:00、社協・大森福祉センター ☎26-3274 心 十文字町幸福会館 心 社協・大雄福祉センター

- 【無料相談】 行…行政 税…税務(10:00～12:00/13:00～15:00)
法…法律(要予約) 心…心配ごと(9:30～12:00)
【救急医療】 急…休日救急当番医(9:00～12:00)
児…日曜夜間小児救急外来(受付18:00～21:00)
【社会保険年金相談】 横手地域局 1階相談窓口 ☎32-2111(内線8529)
・毎週月曜～木曜 10:00～12:00/13:00～15:00

横手送り盆まつり

Pick up!

■8月6日(金)・15日(日)・16日(月)

江戸時代の犬飢饉で亡くなった人を供養するために、柳町(現中央町)町内が柳の枝に法名などを書いた短冊を屋形舟につるし、川原に繰り出して精霊を送ったのが始まりといわれています。



◆ねむり流し

【6日(金)18:00～20:30、蛇の崎川原】子どもたちが小舟を繰り出します。

◆市民盆踊り・屋形舟鑑賞会

【15日(日)19:00～21:30、横手地域局前おまつり広場】千人を超える踊り手が、屋形舟を囲んで艶やかな踊りを披露します。

◆屋形舟繰り出し

【16日(月)18:30～22:30頃、蛇の崎橋・蛇の崎川原】屋形舟がサイサイ囃子によって蛇の崎川原に集結。蛇の崎橋の上で迫力あるぶつかり合いを繰り広げます。

◆協賛花火打上【16日(月)19:00～21:00】

約5,000発の花火がまつりを盛り上げます。

◆問合せ/横手市観光協会 ☎33-7111

たらいこぎ祭り

第24回全日本元祖たらいこぎ選手権大会

Pick up!

■8月16日(月)



◆時 間/9:00スタート(7:30受付開始)

◆場 所/真人公園沼※雨天決行

◆種 目/個人部門、子ども部門、団体部門 ※保険料等の参加料がかかります。 参加賞を用意しています。

◆問合せ/たらいこぎ実行委員会(よこて市商工会増田支所内) ☎45-3003

特別企画展『栗駒山麓の虫たちパートⅡ』 成田弘の昆虫ワールド

期 間/8月4日(水)～22日(日) 9:00～17:00
※8月4日は13:30～、毎週月曜日休み

場 所/横手市増田まんが美術館

問合せ/増田地域局産業建設課 ☎45-5515



無料映写会 ～ 南部シルバーエリア(大森町)

◆上映時間/午後1時～ ◆問合せ/☎26-3880

1日(日)「ヤッターマン 新ヤッターメカ大集合!オモチャの国で大決戦だコロン!」 [94分]

8日(日)「クレヨンしんちゃん 伝説を呼ぶ 踊れ!アミーゴ!」 [96分]

15日(日)「カールじいさんの空飛ぶ家」 [96分]